

「ひきこもり」から考える - 支援で大切にしたいこと -



ひきこもり支援を行う中で、当事者にどのように向き合い、どう対応して良いのか、迷うことは多いのではないのでしょうか。今回は、立教大学の石川良子先生をお招きし、ひきこもり支援のあり方について考える機会とします。

講師

立教大学 社会学部社会学科
教授 **石川 良子** (いしかわ りょうこ) 先生

松山大学人文学部教授を経て、2023年9月より立教大学社会学部教授。専攻は社会学・ライフストーリー研究。2000年ごろから当事者にとって「ひきこもり」とはどういう経験なのか、フィールドワークをもとに探究してきた。2025年1月に策定された厚生労働省『ひきこもり支援ハンドブック』の検討委員会委員なども務めている。主な著書に、『ひきこもりの<ゴール>』（青弓社ライブラリー）、『「ひきこもり」から考える』（ちくま新書）、共編著に『ライフストーリー研究に何ができるか』（新曜社）、『ひきこもりと家族の社会学』（世界思想社）、共著に『「ひきこもり」の30年を振り返る』（岩波ブックレット）などがある。



日時

令和8年**9月11日(金)**

13:30~15:30 (受付開始 13:00)

参加費
無料

会場： ピュアリティまきび 橘
(岡山市北区下石井 2-6-41)

対象： 岡山市内のひきこもり支援業務等に従事する職員
定員： 50名

《申し込み方法》

下記、申込専用 URL か QR コードよりお申込みください。

<https://forms.gle/7z35fdsYctjNAki1A>

※ 事前申し込み必要・先着順（令和8年9月1日〆切）

